

当社単独決算における経常損益の変動要因

1. 平成25年3月期第3四半期（累計）実績（対前年同期比較）

平成24年3月期第3四半期(累計)実績 [A] △77億円

好 転 要 因		悪 化 要 因	
■ 発電設備に係る定期検査費用の減少	178億円	■ 泊発電所停止影響	909億円
■ 石炭火力稼働増などによる経営効率化	133億円	〔・ 泊発電所停止による燃料費の増 982億円〕	
〔・ 石炭火力稼働増 70億円〕		〔・ 原子力バックエンド費用の減 △73億円〕	
〔・ 修繕費の低減 36億円〕		■ 需給対策に係る収支影響	67億円
〔・ 諸経費などの低減 27億円〕		〔 緊急設置電源に係る費用の増、需給対策メニューによる影響など 〕	
		■ その他	18億円
		〔・ 水力発電量の減少による燃料費の増 71億円〕	
		〔・ 公租公課の減 △20億円 など〕	
		[B] 差し引き △683億円 収支悪化	

平成25年3月期第3四半期(累計)実績 [A+B] △760億円

2. 平成25年3月期通期見通し（対前期比較）

平成24年3月期実績 [A] △146億円

好 転 要 因		悪 化 要 因	
■ 石炭火力稼働増などによる経営効率化	280億円程度	■ 泊発電所停止影響	1,160億円程度
〔・ 石炭火力稼働増 120億円程度〕		〔・ 泊発電所停止による燃料費の増 1,250億円程度〕	
〔・ 修繕費の低減 95億円程度〕		〔・ 原子力バックエンド費用の減 △90億円程度〕	
〔・ 諸経費などの低減 65億円程度〕		■ 需給対策に係る収支影響	160億円程度
■ 発電設備に係る定期検査費用の減少	170億円程度	〔 緊急設置電源に係る費用の増、需給対策メニューによる影響など 〕	
		■ その他	260億円程度
		〔・ 水力発電量の減少による燃料費の増 70億円程度〕	
		〔・ その他費用(委託費、廃棄物処理費など)の増 120億円程度 など〕	
		[B] 差し引き △1,130億円程度 収支悪化	

平成25年3月期見通し [A+B] △1,280億円程度